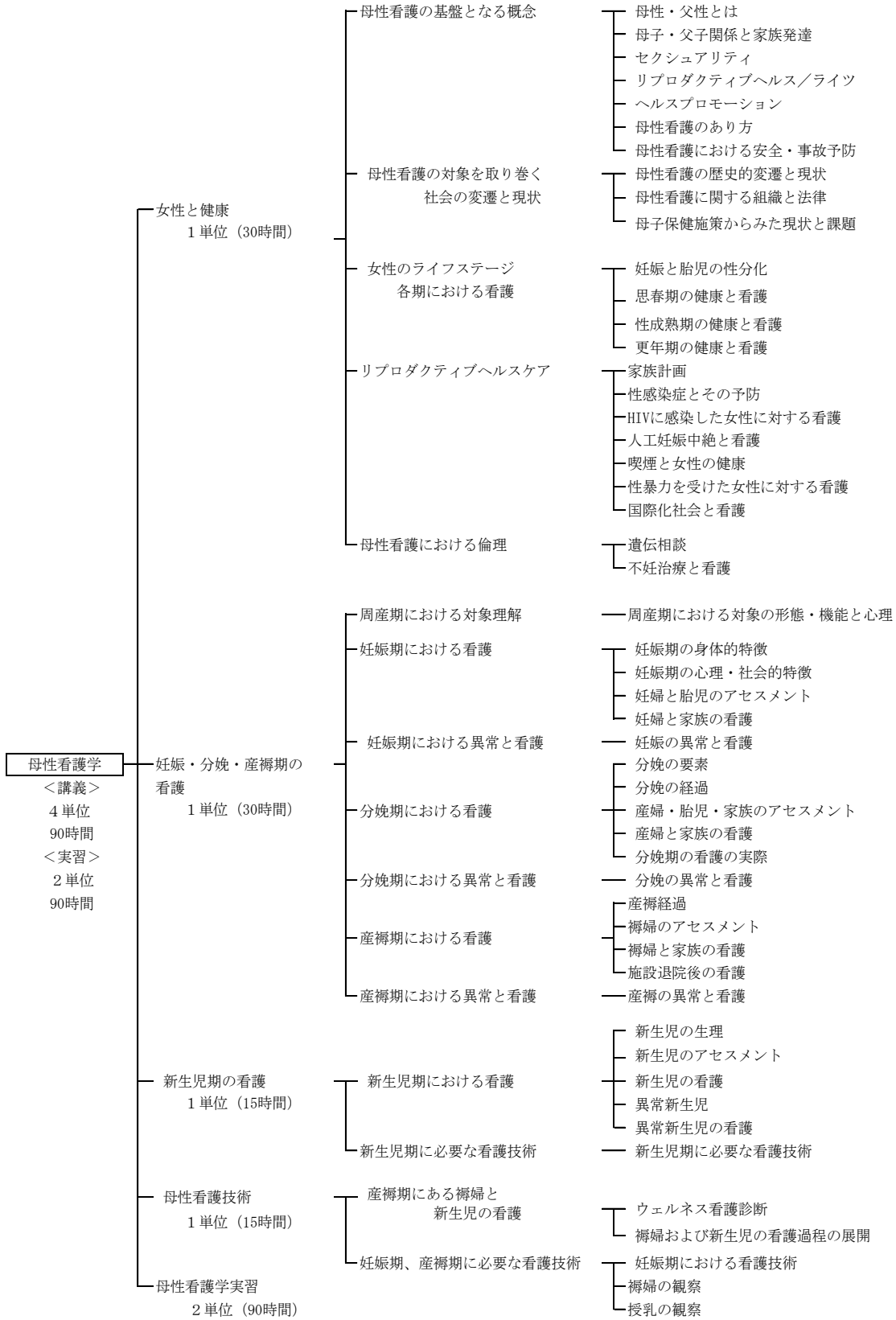


## 第一看護学科 母性看護学

目 的 母性看護の対象を理解し、健全なライフサイクルをおくるための看護を学び、対象のニーズに応じた看護が実践できる基礎的能力を養う。

- 目 標
- 1 社会の変化に伴う女性の役割と母性看護の変遷が理解できる。
  - 2 母性と父性の役割・機能および特徴が理解できる。
  - 3 母性のライフサイクル各期の身体的・精神的・社会的特徴が理解できる。
  - 4 母性のライフサイクル各期におこりやすい健康障害とその看護が理解できる。
  - 5 妊娠・分娩・産褥期および新生児期の経過とその看護が理解できる。
  - 6 妊娠・分娩・産褥期および新生児期における生理的变化を促進するために必要なアセスメント能力を養う。
  - 7 自己の母性観・父性観について考えを深める。

母性看護学 構成図



授業科目	女性と健康	担当教員	外部講師☆ ①吉村 さと子 ②堀部 雅子	単位数	1	時期	1年次 9月～12月
				時間数	30		
目的と目標	母性看護の対象を理解し、健全なライフサイクルをおくるための看護を学ぶ。 1 母性・父性の特性を理解する。 2 母性看護における倫理・人権擁護を理解できる。 3 母性看護の意義と役割を理解できる。 4 母子とその家族を取り巻く地域社会における母子保健・看護活動を理解する。 5 母性看護の対象を理解できる。 6 母性のライフサイクル各期の特徴を理解する。 7 健全な母性の発達に必要な援助を理解する。						
回数	学習課題	内 容		方法	担当教員		
1 2 3 4	母性看護の基盤となる概念	(1) 母性・父性とは ①母性の身体・心理・社会的特性 ②母性の発達・成熟・継承 ③母性看護における母性・父性 (2) 母子・父子関係と家族発達 ①愛着・母子相互作用と母子関係形成 ②女性のライフサイクルと家族 (3) セクシュアリティ ①セクシュアリティ (人間の性) ②セクシュアリティの発達と課題 (4) リプロダクティブヘルス/ライツ ①リプロダクティブヘルス/ライツとは ②女性とリプロダクティブヘルス/ライツの課題 (5) ヘルスプロモーション ①ヘルスプロモーションとは ②女性の生涯にわたる健康教育 (6) 母性看護のあり方 ①母性看護の理念 ②母性看護の課題と展望 ③母性看護における倫理 (7) 母性看護における安全・事故予防		講義	外部講師 (吉村さと子)		
5 6	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状	(1) 母性看護の歴史的変遷と現状 ①わが国における母性看護の変遷 ②母性看護にかかわる指標とその推移 ③母性看護の提供システム		講義	外部講師 (堀部雅子)		
7		(2) 母性看護に関する組織と法律 (3) 母子保健施策からみた現状と課題 (産後ケアの実際)		講義			
8	女性のライフステージ各期における看護 (1時間)	(1) 妊娠と胎児の性分化 ①性分化のメカニズム ②性分化疾患の人へのケア		講義	外部講師 (吉村さと子)		
9 10 11		(2) 思春期の健康と看護 ①思春期女性の特徴 ②健康問題と看護 (月経異常) ③思春期女性への看護の視点		講義 演習			

回数	学習課題	内 容	方法	担当教員
12 13 14	リプロダクティブヘルスケア	(3) 性成熟期の健康と看護 ①成熟期女性の特徴 ②健康問題と看護 (月経困難症) (4) 更年期・老年期の健康と看護 ①更年期・老年期女性の特徴 ②健康問題と看護 (更年期症状・更年期障害)  (1) 家族計画 (2) 性感染症とその予防 (3) HIV に感染した女性に対する看護 (4) 人工妊娠中絶と看護 (5) 喫煙と女性の健康 (6) 性暴力を受けた女性に対する看護 (7) 国際化社会と看護	講義 演習	外部講師 (吉村さと子)
15	出生前からのリプロダクティブヘルスケア  試験 (1 時間)	(1) 遺伝相談 (2) 不妊治療と看護  (1) 筆記試験	講義  試験	
評価方法	筆記試験 100 点 (外部講師：1～6、8～15 回：100 点)			
教科書 参考文献	系看 専門 母性看護学概論 母性看護学① (医学書院) 系看 専門 母性看護学各論 母性看護学② (医学書院) 国民衛生の動向 (厚生労働統計協会)			
事前準備や 受講要件等	適宜、提示する課題について、期限を厳守して提出する。			
☆担当教員 の実務経験	①助産師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ②保健師、助産師として行政機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。			

授業科目	妊娠・分娩・産褥期の看護	担当教員	外部講師☆ 安田 紀代子	単位数	1	時期	2年次 4月～7月
				時間数	30		
目的と目標	<p>妊娠・分娩・産褥期における母児の生理的変化と母児関係を理解し、対象およびその家族に対して適切な看護ができる基礎的知識を学ぶ。</p> <p>1 妊娠・分娩・産褥各期の経過がわかる。 2 妊娠・分娩・産褥各期における対象の看護がわかる。 3 妊娠・分娩・産褥各期の異常とその看護がわかる。</p>						
回数	学習課題	内 容			方法	担当教員	
1	周産期にある対象の理解	(1) 周産期における対象の形態・機能と心理 ①妊娠期、分娩期、産褥期			講義	外部講師 (安田紀代子)	
2	妊娠期における看護	(1) 妊娠期の身体的特徴 ①妊娠の生理 ②胎児の発育とその生理 ③母体の生理的変化					
3		(2) 妊娠期の心理・社会的特徴 ①妊婦の心理 ②妊婦と家族及び社会			講義		
4		(3) 妊婦と胎児のアセスメント ①妊娠とその診断 ②妊娠期に行う検査とその目的 ③胎児の発育と健康状態と診断 ④妊婦と胎児の経過の診断とアセスメント					
5	妊娠期における異常と看護	(4) 妊婦と家族の看護 ①妊婦が受ける母子保健サービス ②妊婦の健康相談・教育の実際 ③親になるための準備教育			講義		
6		(1) 妊娠の異常と看護 ①ハイリスク妊娠 ②妊娠期の感染症 ③妊娠疾患 ④多胎妊娠 ⑤妊娠持続期間の異常 ⑥異所性妊娠 ⑦ハイリスク妊婦の看護					
7	分娩期における看護	(1) 分娩の要素 ①分娩とは ②分娩の3要素 ③胎児と子宮および骨盤との関係 ④分娩の機序			講義		
8		(2) 分娩の経過 ①分娩の進行と産婦の身体的変化 ②産痛 ③分娩が胎児に及ぼす影響 ④産婦の心理・社会的変化					
9		(3) 産婦・胎児・家族のアセスメント ①産婦と胎児の健康状態のアセスメント ②産婦と家族の心理・社会面のアセスメント ③産婦・家族における問題の明確化			講義		

回数	学習課題	内 容	方法	担当教員
10	分娩期における異常と看護	(4) 産婦と家族の看護 ①看護目標と産婦のニーズ ②安全・安楽な分娩への看護 ③出産体験が肯定的になるための看護 ④基本的ニーズに関する看護 ⑤家族発達を促す看護 (5) 分娩期の看護の実際 (看護計画含) ①分娩第1期の看護 ②分娩第2期の看護 ③分娩第3期の看護 (1) 分娩の異常と看護 ①産道の異常 ②娩出力の異常 ③胎児の異常による分娩障害 ④胎児の付属物の異常 ⑤分娩時の損傷 ⑥分娩第3期および分娩直後の異常 ⑦分娩時異常出血 ⑧産科処置と産科手術 ⑨異常のある産婦の看護 ⑩異常分娩時の産婦 (帝王切開) と看護	講義	外部講師 (安田紀代子)
11	産褥期における看護 (7時間)	(1) 産褥経過	講義	
12		①産褥期の身体的変化 ②産褥期の心理・社会的変化		
13		(2) 褥婦のアセスメント		
14		①産褥経過の診断 ②褥婦の健康状態のアセスメント ③褥婦の観察		
15	産褥期における異常と看護 (1時間)	(3) 褥婦と家族の看護 ①身体機能回復および進行性変化への看護 ②児との関係確立への看護 ③育児にかかわる看護 ④家族関係再構築への看護 (4) 施設退院後の看護 ①身産後の生活調整 ②育児不安 ③産後の健康診査と子育て支援 ④職場復帰 ⑤災害時における母と子と家族の看護 (5) 産褥の異常と看護 ①子宮復古不全 ②産褥期の発熱 ③産褥血栓症 ④精神障害 ⑤異常のある褥婦の看護 ⑥育児に困難さを抱える母親への看護 ⑦児を亡くした褥婦・家族の看護	講義	
15	試験 (1時間)	(1) 筆記試験	試験	
評価方法	筆記試験 100点			
教科書 参考文献	系看 専門 母性看護学各論 母性看護学② (医学書院) 根拠と事故防止からみた母性看護技術 (医学書院)			
事前準備や 受講要件等	適宜、提示する課題について、期限を厳守して提出する。			
☆担当教員 の実務経験	助産師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。			

授業科目	新生児期の看護	担当教員	専任教員☆ ①柴田 歩実 外部講師☆ ②山本 裕 ③松浦 歩美	単位数	1	時 期	2年次 7月～10月		
			時間数	15					
目的と目標	新生児期における児の生理的変化と母児関係を理解し、対象およびその家族に対しての適切な看護ができる基礎的知識を学ぶ。 1 新生児の生理的変化がわかる。 2 新生児期における必要な看護がわかる。 3 異常新生児の特徴がわかる。 4 新生児に必要な看護技術が習得できる。								
回数	学習課題	内 容			方法	担当教員			
1 2 3	新生児期における看護	(1) 新生児の生理 ①新生児とは ②新生児の機能 (2) 新生児のアセスメント ①新生児の診断 ②新生児の健康状態のアセスメント (3) 新生児の看護 ①出生直後の看護 ②出生後から退院までの看護 ③出生後1か月健診に向けた退院時の看護			講義	専任教員 (柴田歩実)			
4		(4) 異常新生児 ①新生児仮死 ②分娩外傷 ③低出生体重児 ④高ビリルビン血症				外部講師 (山本 裕)			
5		(5) 異常新生児の看護 ①低出生体重児の看護 ②健康障害をもつ新生児の看護 ③母児分離時の看護				外部講師 (松浦 歩美)			
6 7		新生児に必要な看護技術	(1) 新生児期に必要な看護技術 ①新生児の観察(視診・触診・聴診) ②清潔の援助方法(沐浴・ドライテクニック) ③抱き方・更衣・おむつ交換			演習	専任教員 (柴田歩実)		
8			(1) 筆記試験				試験		
評価方法	筆記試験 100点 (1～3回、6・7回：70点、4回：15点、5回：15点)								
教科書 参考文献	系看 専門 母性看護学各論 母性看護学② (医学書院) 根拠と事故防止からみた母性看護技術 (医学書院)								
事前準備や 受講要件等	適宜、提示する課題について、期限を厳守して提出する。 小児看護学 子どもの理解で学習した子どもの成長と発達(新生児)の復習をして臨む。								
☆担当教員 の実務経験	① 助産師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ② 医師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。 ③ 看護師として医療機関(NICU)に勤務した経験を活かした授業展開をする。								

授業科目	母性看護技術	担当教員	専任教員☆ 柴田 歩実	単位数	1	時期	2年次 10月～12月
				時間数	15		
目的と目標	<p>周産期の対象の生理的変化と状態に応じた看護過程の展開および看護援助を理解する。</p> <p>1 周産期におけるアセスメントの視点がわかり、対象が理解できる。</p> <p>2 褥婦および新生児の生理的変化をふまえて、経過に応じた援助の必要性および援助方法が理解できる。</p> <p>3 周産期における基本的援助技術が習得できる。</p>						
回数	学習課題	内 容		方法	担当教員		
1 2 3 4 5 6	産褥期にある褥婦と新生児の看護 (11時間)	(1) ウェルネス看護診断 (2) 褥婦および新生児の看護過程の展開 ①経膈分娩後の褥婦と新生児への看護		講義 演習	専任教員 (柴田歩実)		
7 8	妊娠期、産褥期に必要な看護技術 (3時間)	(1) 妊娠期における看護技術 ①子宮底長、腹囲測定法 ②レオポルド触診法 ③胎児心音聴取法 (NST 装着) (2) 褥婦の観察 (退行性・進行性変化) (3) 授乳の観察 (ラッチオン等)		演習			
	試験 (1時間)	(1) 筆記試験		試験			
評価方法	試験 100 点 (筆記試験 : 60 点 事例展開 : 40 点) *再試験は筆記試験 100 点で評価する。						
教科書 参考文献	系看 専門 母性看護学各論 母性看護学② (医学書院) ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程 (医歯薬出版株式会社) 根拠と事故防止からみた母性看護技術 (医学書院)						
事前準備や 受講要件等	適宜、提示する課題について、期限を厳守して提出する。 「妊娠・分娩・産褥期の看護」、「新生児期の看護」で学習した内容を復習して臨む。						
☆担当教員 の実務経験	助産師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする。						